11月

あかるく たのしく集い ご縁をつなぐ

愛　宕
自 治 協 だ よ り

第27号 令和 3年 11月

佐世保市赤崎町596−26
愛宕地区自治協議会
TEL：28−7822　fax：28−7825

生涯学習部 主催

音浴博物館

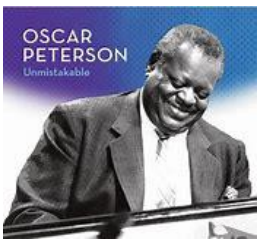
出張レコード鑑賞会を開催します！

日　時：令和3年11月27日（土）　11時～
場　所：愛宕地区コミュニティセンター　大集会室
定　員：65名

※ お申込みは、事前に愛宕地区コミュニティセンターに
お電話ください。　（TEL:0956-28-7822）

「懐かしいメロディーを聴いて、元気が出ました！」など、多くの感想をいただいた、3月のレコード鑑賞会鑑賞会から半年が過ぎました。
今回は、どんな年代・ジャンルの曲が選曲されるのでしょうか！
コロナ疲れの日々で、不安な日々を過ごしている私たちですが、音楽の力で、若かりし日に戻り、元気になりませんか？

佐世保市内の新型コロナウイルス感染症の状況は、レベル3までに下がり、前回よりも、定員を15名増やすことができました。
しかし、参加申し込みは、予約制になっています。　先着順になりますので、お早めにお申し込みください。

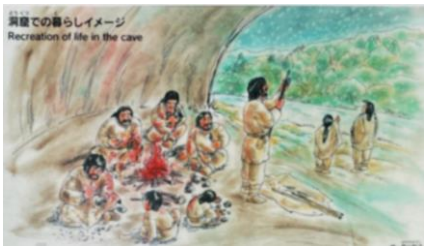


愛宕地区コミュニティセンター主催　愛宕地区自治協議会福祉・青少年部共催

令和３年１０月１４日（木）１３時３０分～

佐世保の歴史を知ろう　第2弾！

「日本を代表する洞窟遺跡　～福井洞窟他佐世保洞窟群～」の講演会を開催し、講師に佐世保文化財課の柳田　裕三氏をお迎えしました。
参加の２６名は、熱心に耳をかたむけていました。



遺跡発掘を、愛してやまない柳田さんのお話しで、参加者一同、古代にタイムスリップ！

福井洞窟は佐世保市吉井町福井にあり、人類が日本列島に移住してきた約1万9000年前の旧石器時代から、約1万年前の縄文時代までの洞窟遺跡です。人類が獲物を求めて「遊動生活」を送っていた旧石器時代の狩猟具は、かみそりの刃のような形をした「細石刃」で、骨や石の側面に埋め込んで使われていた槍の道具です。縄文時代になると細石刃の数が増え、土器が出土していて、定住的要素が強まることなど、生活の様式が道具の変化で読み取れ、それぞれの時代で生きた古代人の生活がわかる貴重な遺跡です。

発掘調査により、2018年時点で31カ所の洞窟遺跡が発見されていてます。 佐世保が**「洞窟遺跡日本一のまち」** であることは、ご存知でしたか？

令和3年4月には、『福井洞窟ミュージアム』も開館し、福井洞窟の歩みもわかります。中でも発掘現場を再現したジオラマと6メートルの地層（実物）は必見です。

『文化財は、地域の資源であり、宝
地域で守り、受け継がれることが大切』です！

福祉・青少年部の小林部長
以前九州国立博物館の文化交流展示室に、福井洞窟の出土品が展示されていたのを覚えています。

佐世保の宝である、福井洞窟などを守るため、「吉井地区文化財保存連絡会」の方々が、清掃、見学案内など、地道な活動を行っています。 佐世保市民である私たちも、未来に受け継がれる文化財のことを、大切に守っていきたいと思います。